Message

1786年に初演された《フィガロの結婚》は、ウィーンでは思うような評判を得られませんでした。
ところが翌年、モーツァルト自らが訪れたプラハでは、貴族社会への不満を抱く市民たちの心をとらえ、
熱狂的な歓迎を受けます。この喜びに応えるように生まれたのが、交響曲第38番「プラハ」。
そして「プラハ」といえば忘れてはならないのが、街の中心を流れるヴルタヴァ川――モルダウです。
モーツァルト生誕270年を記念する今年、ウィーンからプラハへ、フィガロからモルダウへと受け継がれてゆく
音楽の旅を、ミニオペラとピアノデュオという形でお届けいたします。どうぞ会場にてお楽しみください。

小松原 利枝（ソプラノ）

昭和音楽大学声楽学科卒業、洗足学園音楽大学大学院声楽専攻修了。オペラ《ポッペアの戴冠》ドゥルジッラ役でデビュー後《フィガロの結婚》スザンナ、《魔笛》パパゲーナ、《ヘンゼルとグレーテル》ヘンゼル、《あまんじゃくとうりこ姫》あまんじゃく役など数多くの舞台やコンサートに出演。マレーシアの芸術大学ではオペラ公演の指導・出演を行うなど、アジアでの音楽交流にも積極的に取り組んでいる。吉祥寺オペラファンタジー代表として、オペラを軸に童謡・唱歌、ミュージカルなど多彩なジャンルを融合したコンサートを企画・開催。「オペラをもっと身近に」をテーマに、子どもから大人まで世代を超えて楽しめる舞台づくりを行うほか、歌の力を生かし、美と健康につながる活動にも取り組んでいる。
ナミ・レコードよりファーストアルバム『One Hug for You』をリリース。藤原歌劇団団員。

小川 陽久（バリトン）

香川県三木町出身。香川県立坂出高等学校を経て、愛知県立芸術大学卒業。同大学院修了。在学中に学内選抜による卒業演奏会に出演。二期会オペラ研修所第 64 期マスタークラス修了。これまでに七條功、前田朋紀、末吉利行、服部容子、番場ちひろの各氏に師事。これまでオペラでは『魔笛』パパゲーノ役・僧侶役、『皇帝ティートの慈悲』プブリオ役、『ヘンゼルとグレーテル』ペーター役、『椿姫』ドゥフォール男爵役・グランヴィル医師役、『道化師』シルヴィオ役などに出演。またオペラ以外ではJ.S.バッハ「カンタータ36 番」バスソリスト、ベートーヴェン「交響曲第9番」バスソリストとしても出演。二期会準会員。
演奏活動の傍ら演奏会などの撮影カメラマンとしても活動している。

水谷 稚佳子（ピアノ）

武蔵野音楽大学器楽科ピアノ卒業。在学中、学内演奏会、卒業演奏会に選抜出演。卒業後、ソロ、伴奏等の演奏活動の傍ら、フィンガートレーニングをベースとして音楽専門の学生たちを中心に指導をしている。2003年より脱力を中心としたセミナーやレッスンを各地で開催。現在はオンラインでの講座も毎月開講。2013年にはピアノがラクに弾けるための「魔法のリストボード」を考案、制作。2017年には、教本『親指なしのハノン』を出版。2018年ソプラノ小松原利枝とCD『One Hug for you』をリリース。2020年より脱力・フィンガートレーニングを教えるスキルをコンテンツ化し、特に幼児からシニアまで取り組める脳トレ（童謡ハッピートレーニング®）は、脱力やピアノの上達に繋がるコンテンツとして、全国の指導者、学習者の間に支持され好評を得ている。杉並公会堂における杉並ミュージックブランチに多数出演のほかコンサート、セミナー、後進の指導と共に精力的に活動。日本女子大学非常勤講師、全日本ピアノ指導者協会正会員、PTNAピアノコンペティション他各コンクールの審査も務める。ホームページ https://chikako.club/

本多 昌子（ピアノ）

第29回全日本学生コンクール小学校の部全国第一位。PTNAピアノコンペティション金賞受賞。東京藝術大学附属音楽高校を経て東京藝術大学、同大学院を修了。在学中 第52回日本音楽コンクール入選、日本室内楽コンクール入賞、学内にて安宅賞を受賞。1987年DAAD（ドイツ学術交流会）の給費留学生として旧西ドイツケルン音楽大学に入学、当地にてリサイタルを催し、紙上にて高く評価される。同大学を最優秀首席の成績で卒業。1994年CD「現代日本のヴァイオリン音楽・抄」（Vn天満敦子）でピアノ共演者として文化庁芸術作品賞を受賞。2008年より、毎年元ウィーンフィル首席チェリスト スコチッチ氏、ウィーン響首席ヴィオリストミュラー氏、ヴァイオリニスト エーレンフェルナー氏らを招き、室内楽のリサイタルを催す。また、ヴァイオリニスト エーレンフェルナー氏とベートーヴェン・ヴァイオリンソナタ全曲CDをリリース。これまでに昭和音楽大学、藝大附属高校非常勤講師を勤め、全日本ピアノ指導者協会理事として各種セミナー、コンクールの審査にも携わる。